

## 平成 31 年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校日本史 B 新訂版 (実教出版)						
副教材等	山川 ビジュアル版日本史図録 (山川出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・過去から未来へ、時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」という視点を持つ。
- ・日本の歴史をふまえ、現在の日本の在り方を考える。

## 2 学習の到達目標

- ・写真や図など、諸資料に親しみ、歴史に興味関心をもつ。
- ・現代の諸課題について、歴史的観点から考察することができる。
- ・日本の歴史や文化を学び、グローバル化のすすむ国際社会で主体的に友好的に生きる資質を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近世・近現代史における歴史的事象に対する興味関心を高め、意欲的に追究する。また、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚をもつ。	歴史的事象や現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、自分の考えや意見をもち、表現する。	諸資料から近世・近現代史に関するものを判別し、それらの資料から情報を選択して、読み取ることができる。	近世・近現代史における歴史的事象の基本的知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 振り返りシート レポート	〔主題学習〕 振り返りシート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、定期考査・学習のまとめりに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。

#### 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価 方法
			a	b	c	d		
1 学 期	江戸幕府の成立・展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制の成立と国際社会</li> <li>幕藩体制の展開</li> <li>元禄文化</li> </ul>	○			○	a:江戸幕府が成立した過程や初期の幕府がどのように展開していったのかを理解し、そのころの日本をとりまく国際関係がどんなものであったのか、興味・関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:事例の考察に必要な諸資料を資料集などから選択し、有用な情報を選び取って、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、歴史的な流れからその事象を理解し、知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート
	幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制の動揺 ～江戸の3大改革～</li> <li>化政文化</li> </ul>	○		○	○	a:江戸の3大改革をとおして、江戸時代の経済発展がどのようなものであったのか、また、どのような影響を幕府に及ぼしていたか考察し、政治史だけではなく、多角的に江戸時代という時代を理解することで、社会のあり方に興味をもつ。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集などから必要な諸資料を見分け、その中から有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:江戸時代におこなわれた3大改革の特質を中心にその頃の歴史的事象やなぜそれが起こったのかなど、時間軸に沿って理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2 学期	近代への転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世から近代社会へ ～開港から倒幕へ～</li> <li>・明治維新と立憲国家の成立</li> </ul>	○	○			<p>a: 18世紀後半からの諸外国の動きに対する幕府の対策から、19世紀の開港、そして倒幕に至る歴史の流れを理解し、歴史的事象がおこった理由や必然性について興味・関心をもつ。</p> <p>b: 諸外国における幕府の対応の変化や、開国、そして倒幕に至った経緯などを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 西洋文化と取り入れた日本がどのように変化していったのか、江戸～明治時代という過渡期におこる諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ることができている。</p> <p>d: 江戸時代におこなわれた開国から倒幕に至る経緯、そして明治政府がどのような国づくりをおこなっていったのか、基本的な事柄を諸外国の動きと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート
	近代国家の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清・日露戦争と東アジア</li> <li>・近代産業の発展と国民生活</li> <li>・第一次世界大戦と日本の社会</li> <li>・昭和初期の国内政治と外交政策</li> </ul>	○	○		○	<p>a: 日本が一等国として発展していった過程や、その影響が周辺国や国民にどのような影響を生んだのか、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 日本が一等国として発展していった裏で虐げられた人や周辺国について学び、「発展」が決して輝かしいものだけではないことを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 日本が一等国に発展していった過程とそれによる影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 日本が一等国として発展していった基本的な事柄を、国民や周辺諸国に与えた影響と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート

3学期	第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦と日本の社会</li> <li>・占領下の日本と独立回復</li> <li>・経済大国日本への道</li> </ul>	○	○	○	<p>a: 第二次世界大戦前後の世界情勢と日本について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている</p> <p>b: 第二次世界大戦前後の世界情勢と日本について、現在の政治の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 第二次世界大戦前後の資料、特に戦時中の日本人に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 第二次世界大戦前後の世界情勢と日本についての基本的な事柄を、現在の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート
	持続可能な社会への展望	<p>〔主題学習〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の設定</li> <li>・調査方法</li> <li>・資料収集</li> <li>・成果報告</li> </ul>	○	○	○	<p>a: 現代の日本が抱える諸問題を、特に戦後日本の歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 現代の日本が抱える諸問題を、特に戦後日本の歴史的観点から考察し適切に表現している。</p> <p>c: 現代の日本が抱える諸問題を、特に戦後日本の歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。</p> <p>d: 現代の日本が抱える諸問題に関する知識を身に付けている。</p>	レポート 振り返りシート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 資料活用の技能      d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。